

平成20年横浜港の港勢

入港船舶

		単位	20年	前年比	構成比	19年	前年比	構成比
総数	隻数	隻	43,202	100.1	100.0	43,157	101.3	100.0
	総トン数	総トン	279,137,876	104.5	100.0	267,099,389	105.3	100.0
外航船	隻数	隻	11,308	100.4	26.2	11,264	97.9	26.1
	総トン数	総トン	237,155,165	105.2	85.0	225,350,108	105.3	84.4
うち フルコンテナ船	隻数	隻	5,472	98.2	48.4	5,574	97.7	49.5
	総トン数	総トン	132,174,442	102.6	55.7	128,882,307	105.6	57.2
内航船	隻数	隻	31,894	100.0	73.8	31,893	102.5	73.9
	総トン数	総トン	41,982,711	100.6	15.0	41,749,281	105.7	15.6

海上出入貨物

		単位	20年	前年比	構成比	19年	前年比	構成比
総数	貨物量	トン	141,764,431	100.01	100.0	141,757,342	102.6	100.0
	うちコンテナ貨物量	トン	52,461,374	98.9	37.0	53,065,208	107.2	37.4
	コンテナ個数	TEU	3,481,492	101.6	100.0	3,428,112	107.1	100.0
外貨	計	トン	91,665,353	101.0	64.7	90,736,695	103.9	64.0
	輸出	トン	46,897,862	101.3	33.1	46,303,743	109.3	32.7
	輸入	トン	44,767,491	100.8	31.6	44,432,952	98.8	31.3
うち コンテナ貨物	計	トン	50,023,906	98.2	54.6	50,920,432	107.5	56.1
	輸出	トン	25,869,582	100.4	55.2	25,776,179	110.4	55.7
	輸入	トン	24,154,324	96.1	54.0	25,144,253	104.7	56.6
コンテナ個数	計	TEU	3,203,871	100.7	92.0	3,182,089	106.8	92.8
	輸出	TEU	1,689,420	102.2	48.5	1,653,228	106.7	48.2
	輸入	TEU	1,514,451	99.1	43.5	1,528,861	106.9	44.6
内貨	計	トン	50,099,078	98.2	35.3	51,020,647	100.3	36.0
	移出	トン	21,191,682	100.6	14.9	21,063,593	99.4	14.9
	移入	トン	28,907,396	96.5	20.4	29,957,054	101.0	21.1
うち コンテナ貨物	計	トン	2,437,468	113.6	4.9	2,144,776	100.7	4.2
	移出	トン	1,418,085	111.2	6.7	1,274,983	117.4	6.1
	移入	トン	1,019,383	117.2	3.5	869,793	83.4	2.9
コンテナ個数	計	TEU	277,621	112.8	8.0	246,023	111.7	7.2
	移出	TEU	125,865	103.1	3.6	122,135	102.8	3.6
	移入	TEU	151,756	122.5	4.4	123,888	122.2	3.6

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貨又は内貨の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

貿易額

		単位	20年	前年比	構成比	19年	前年比	構成比
合計		百万円	12,994,469	101.7	100.0	12,776,935	109.5	100.0
輸出		百万円	8,695,587	100.0	66.9	8,693,500	111.5	68.0
輸入		百万円	4,298,882	105.3	33.1	4,083,435	105.5	32.0

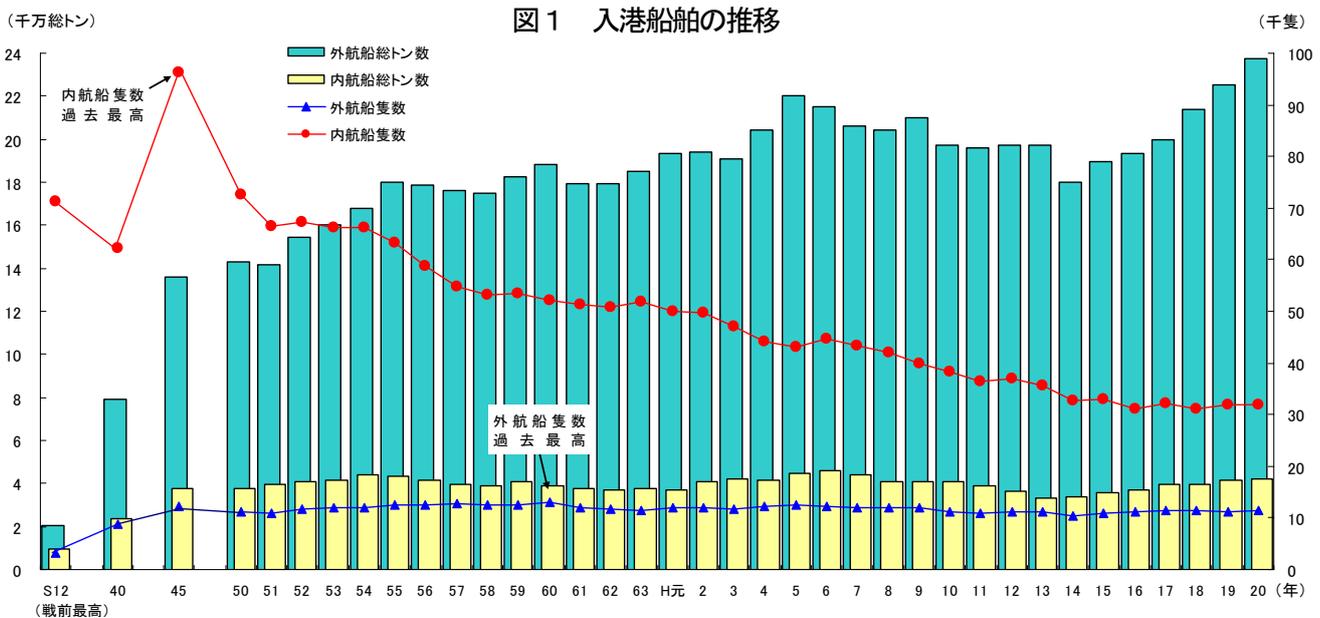
(注) 横浜税関資料による。(確定値)

平成 20 年の横浜港の総貨物取扱量は、自動車関連や産業機械など輸出貨物の堅調な伸びにより、7年連続の増加、4年連続で過去最高を更新しました。

また、入港船舶の総トン数、内貿コンテナ貨物量及びコンテナ取扱個数はそれぞれ過去最高を更新し、コンテナ取扱個数では外貿・内貿合計で約 348 万 TEU を達成しました。

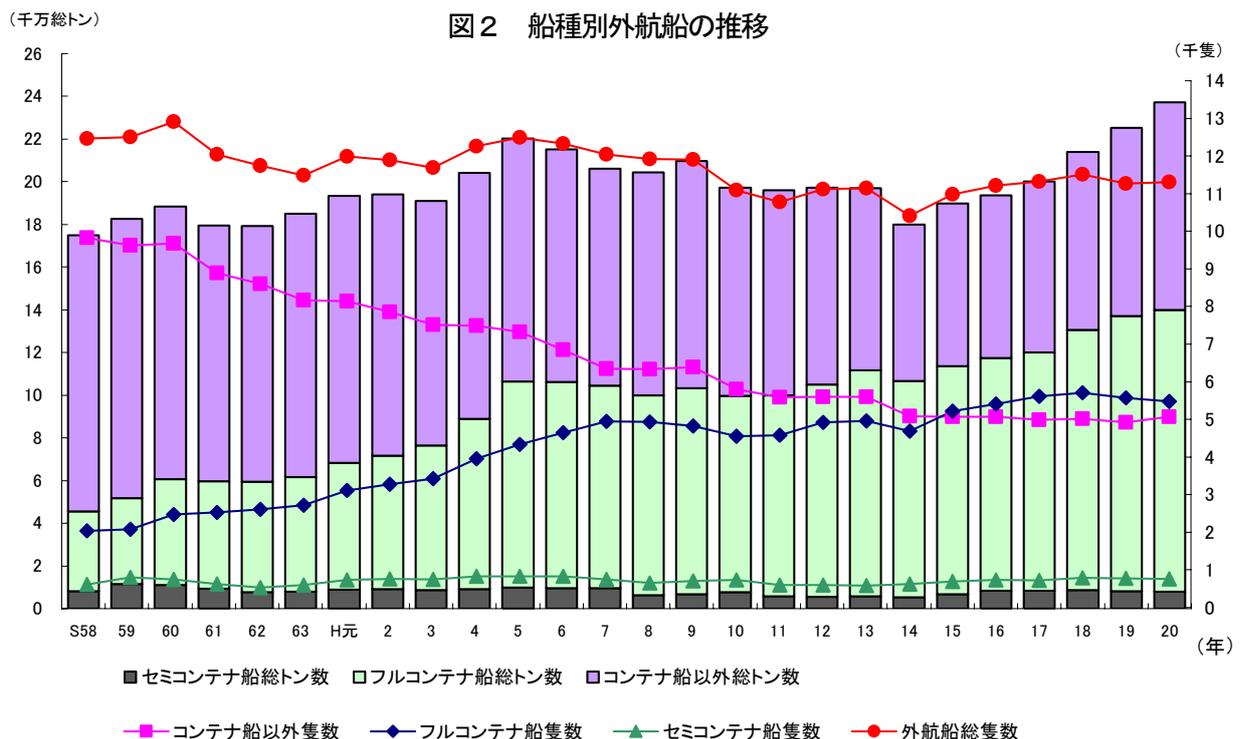
1 入港船舶 【P 9】

入港隻数は外航・内航合計で 4 万 3202 隻（前年比 0.1%増、以下増減%は前年比）となりました。総トン数は 2 億 7914 万総トン（4.5%増）となり、6年連続の増加、2年連続で過去最高を更新しました。



外航船の入港隻数は 1 万 1308 隻（0.4%増）、総トン数は 2 億 3716 万総トン（5.2%増）となりました。このうちフルコンテナ船は 5472 隻（1.8%減）、総トン数は 1 億 3217 万総トン（2.6%増）となり、6年連続で過去最高を更新しました。

内航船の入港隻数は 3 万 1894 隻（0.003%増）で、総トン数は 4198 万総トン（0.6%増）となりました。

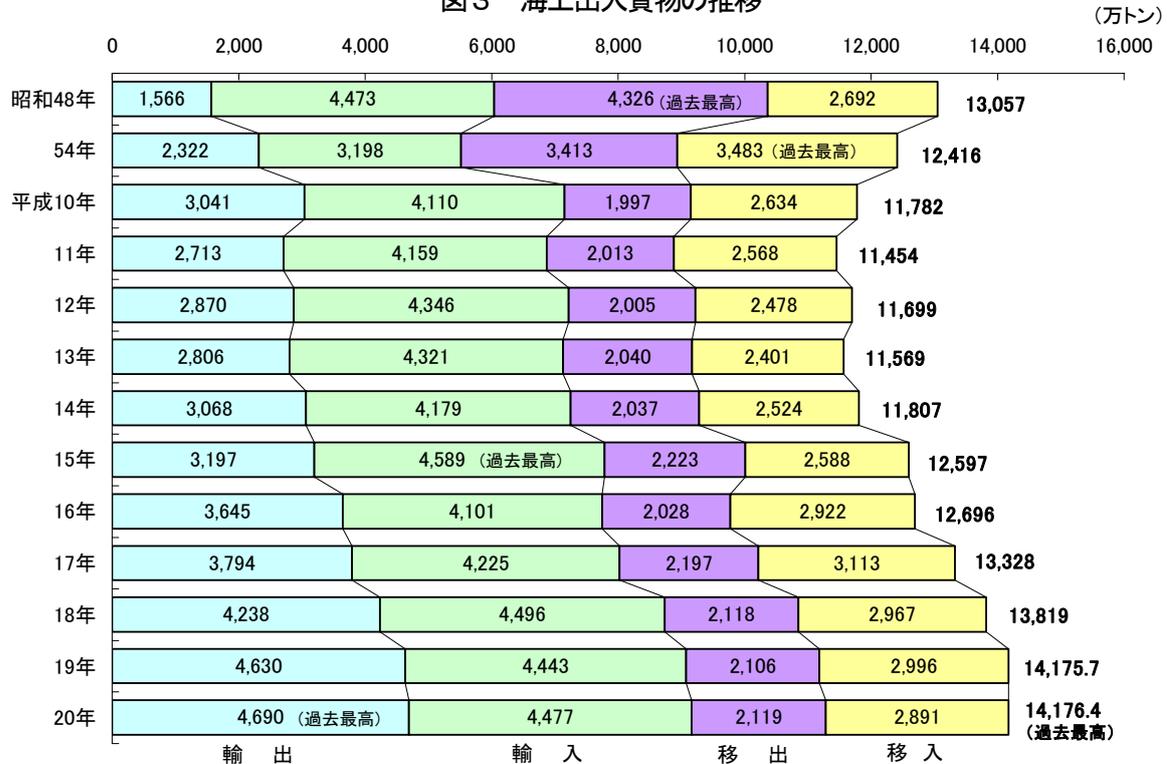


2 海上出入貨物

(1) 総貨物量 … 7年連続の増加、過去最高を4年連続で更新 【P14、15】

外貿貨物量は9167万トン(1.0%増)、内貿貨物量は5010万トン(1.8%減)、総貨物量は1億4176万トン(0.01%増)となり、7年連続で増加し、平成6年(1億2827万トン)以降、4年連続で過去最高を更新しました。

図3 海上出入貨物の推移



(2) 輸出貨物 … 前年比1.3%増、過去最高を5年連続で更新 【P14~16】

輸出貨物量第1位の「完成自動車」(1643万トン、5.0%増、構成比35.0%)、第2位の「自動車部品」(641万トン、8.4%増、構成比13.7%)、第3位の「産業機械」(539万トン、1.1%増、構成比11.5%)などが堅調に推移し、輸出貨物量合計では4690万トン(1.3%増)となり、7年連続で増加、5年連続で過去最高を更新しました。国別にみると、第1位の中国(976万トン、3.9%減、構成比20.8%)と、第2位のアメリカ合衆国(371万トン、22.9%減、構成比7.9%)の上位2か国で輸出貨物量の約3割を占めています。

図4 主要品種別輸出貨物

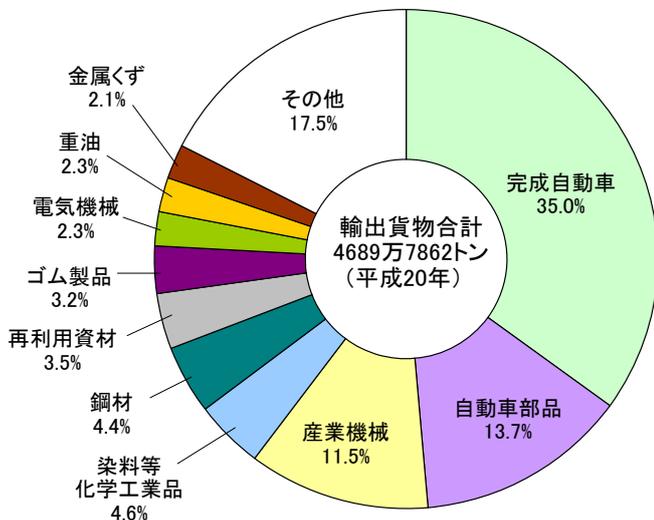
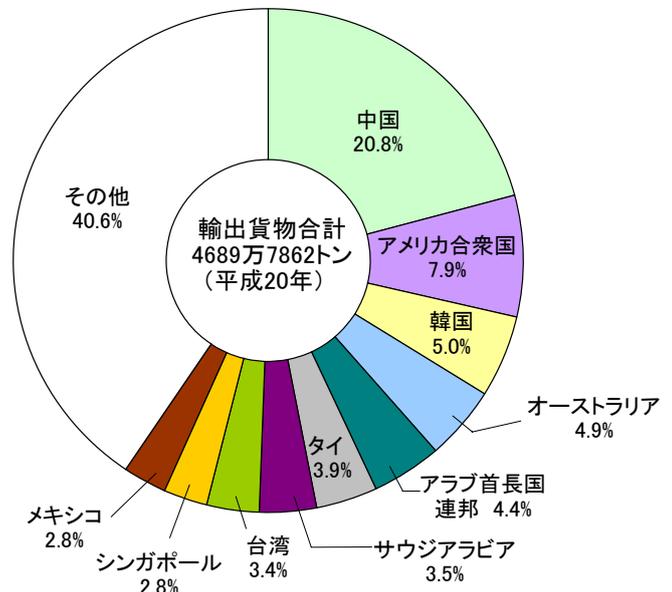


図5 主要国別輸出貨物



(3) 輸入貨物 … 前年比0.8%増、過去4番目の貨物量 【P14～16】

輸入貨物量を品種別にみると、第1位が「LNG（液化天然ガス）」で697万トン（10.1%増、構成比15.6%）、第2位が「原油」で581万トン（6.5%増、構成比13.0%）となり、輸入貨物量合計では4477万トン（0.8%増）と、過去4番目の貨物量となりました。

次に国別にみると、第1位が中国で854万トン（9.2%減、構成比19.1%）、第2位がアメリカ合衆国で663万トン（2.1%減、構成比14.8%）、第3位がサウジアラビアで435万トン（1.2%増、構成比9.7%）となっています。

図6 主要品種別輸入貨物

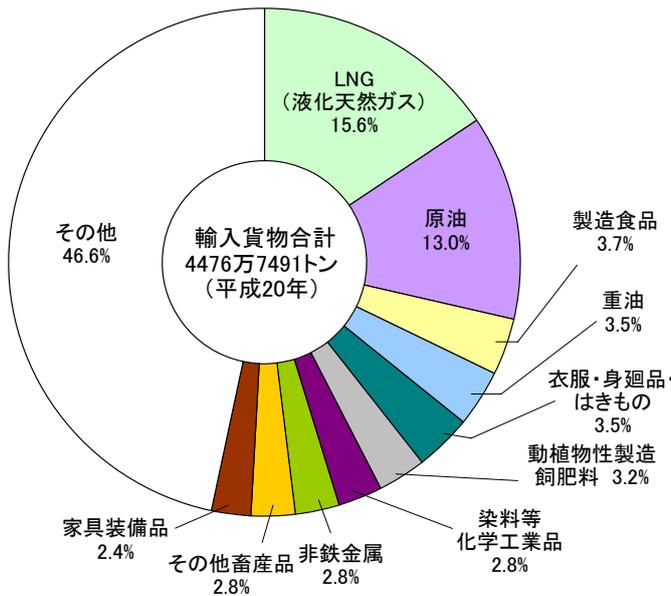
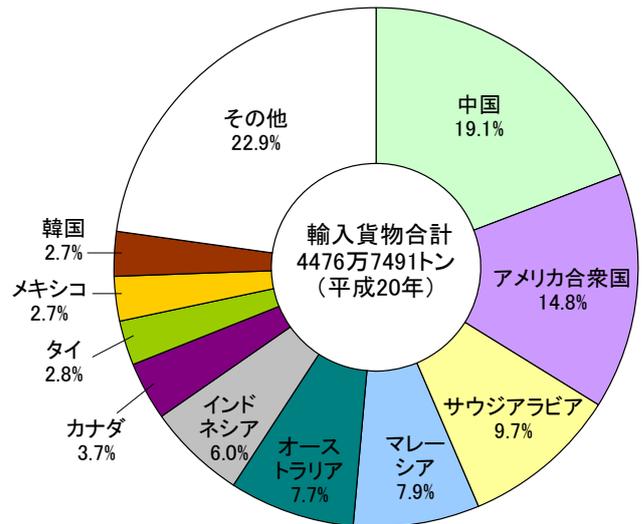


図7 主要国別輸入貨物



(4) 内貿貨物 【P14、15、18】

移出入貨物量を品種別にみると、移出の第1位は「重油」で419万トン（4.1%増、構成比19.8%）、第2位は「石油製品」で419万トン（2.8%減、構成比19.8%）となりました。移入の第1位は「原油」で1094万トン（3.6%増、構成比37.9%）、第2位は「砂利・砂」で358万トン（4.4%減、構成比12.4%）となりました。移出・移入合計では5010万トンとなり、前年比で1.8%減となりました。

図8 主要品種別移出貨物

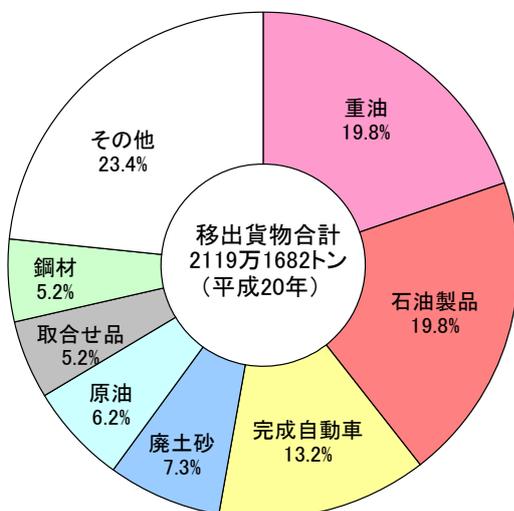


図9 主要港別移出貨物

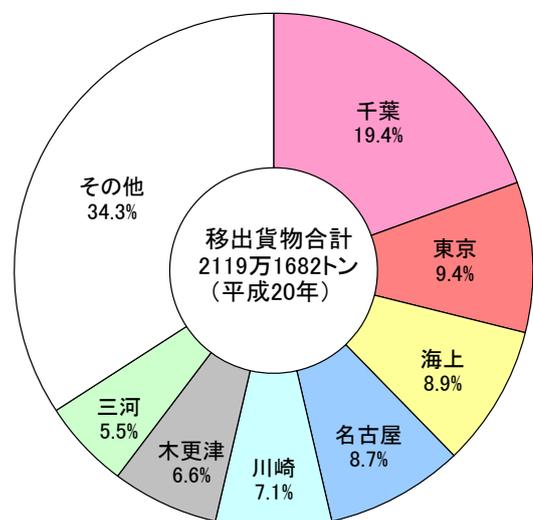


図10 主要品種別移入貨物

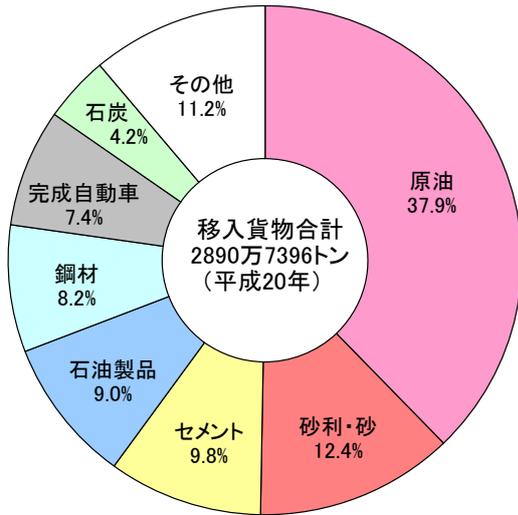
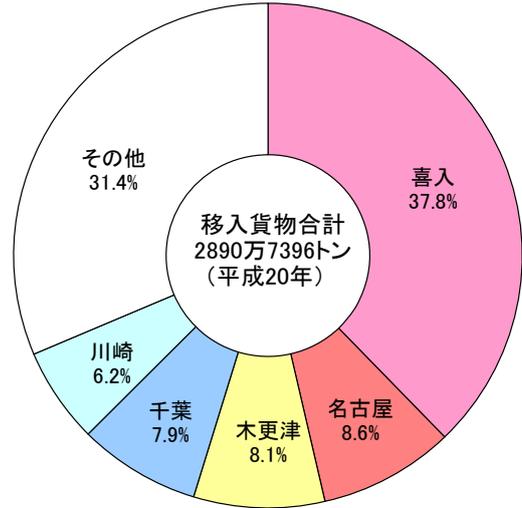


図11 主要港別移入貨物



(5) コンテナ貨物 … 外貿コンテナ貨物 10年ぶりに減少 【P14、15、26】

外貿コンテナ貨物量は、輸出が2587万トン(0.4%増)、輸入が2415万トン(3.9%減)、輸出入合計では5002万トン(1.8%減)と、10年ぶりに減少しました。外貿貨物全体に占めるコンテナ貨物の割合は、54.6%となり、5年連続で5割を超えています。

図12 外貿貨物量の推移

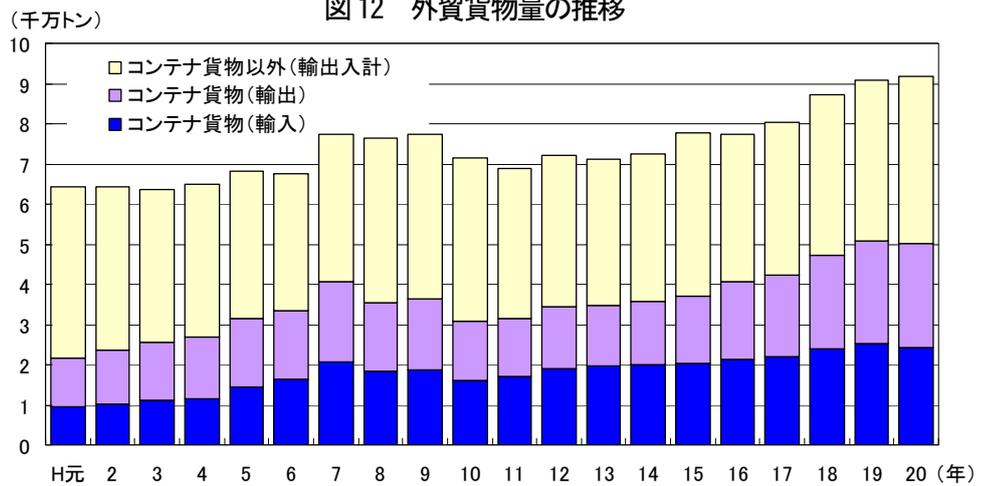
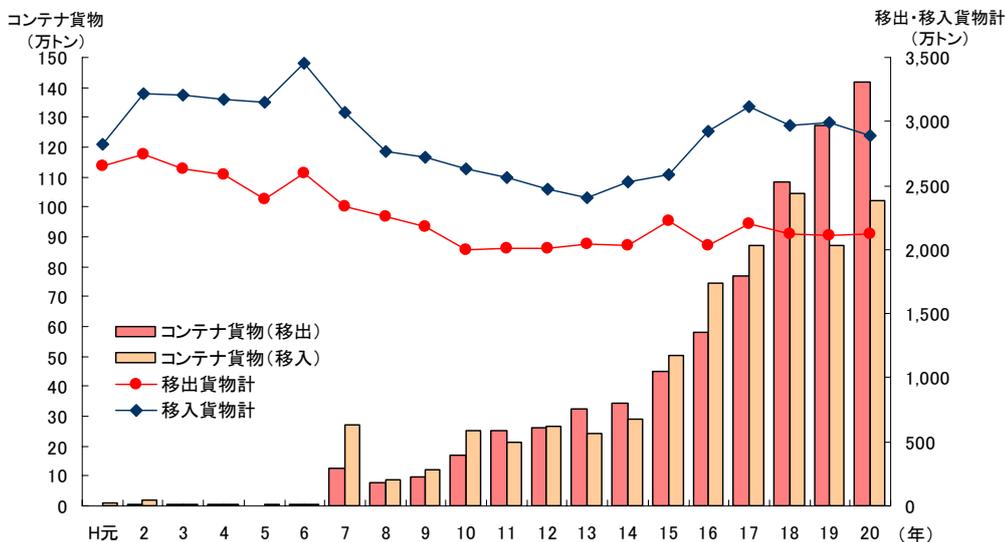
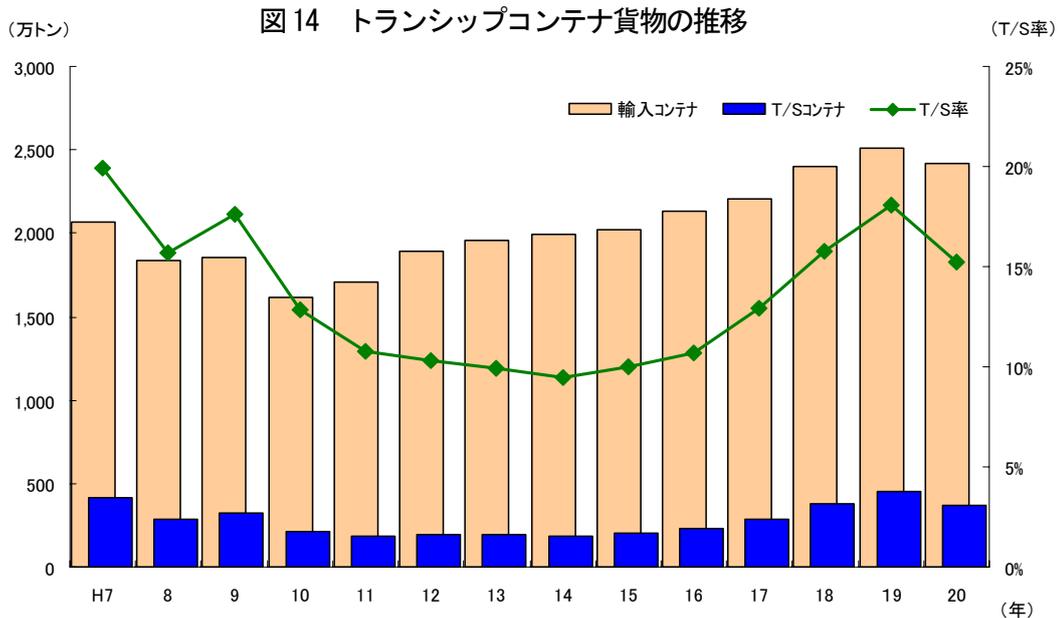


図13 内貿貨物量の推移



内貿コンテナ貨物量は、移出が142万トン(11.2%増)、移入が102万トン(17.2%増)、移出・移入合計で244万トン(13.6%増)となっています。

輸入コンテナ貨物のうち、横浜港にて積み替えたトランシップコンテナ貨物量は368万トンで、トランシップ率は15.2%となりました。



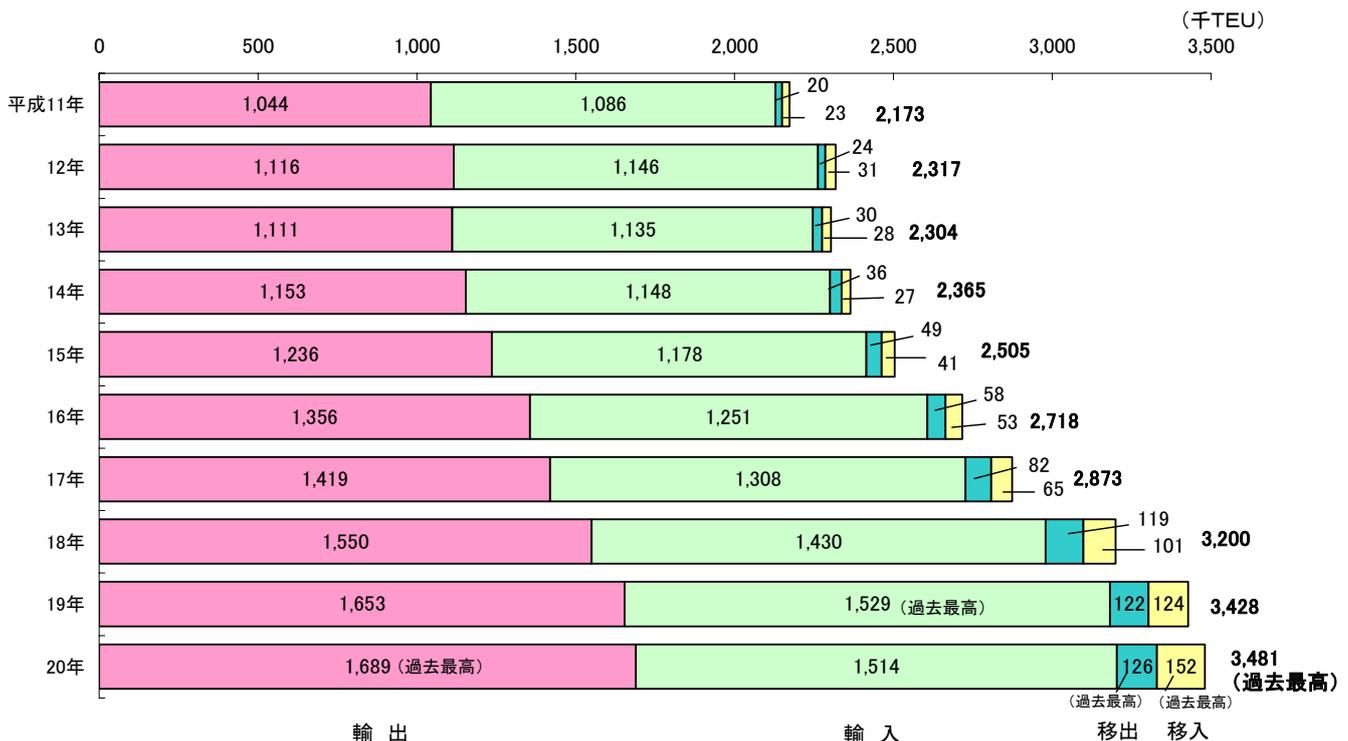
(6) コンテナ個数 … 外貿・内貿コンテナ個数は7年連続の増加、過去最高を4年連続で更新
伸び率は主要港中で第2位 【P20、21、48】

外貿コンテナ個数は、輸出が169万TEU(2.2%増)、輸入は151万TEU(0.9%減)、輸出入合計で320万TEU(0.7%増)となり、7年連続の増加、3年連続で過去最高を更新しました。

内貿コンテナ個数は、移出が13万TEU(3.1%増)、移入が15万TEU(22.5%増)、移出・移入合計で28万TEU(12.8%増)となりました。

外貿・内貿コンテナ個数は348万TEU(1.6%増)となり、7年連続の増加、4年連続で過去最高を更新しました。

図15 コンテナ個数の推移



横浜港のコンテナ取扱個数（348万TEU）は、東京港（416万TEU）に次いで9年連続で第2位となっています。横浜港のコンテナ取扱個数を前年と比較すると1.6%増となっており、伸び率は主要港中で第2位となっています。

図16 主要港別コンテナ個数

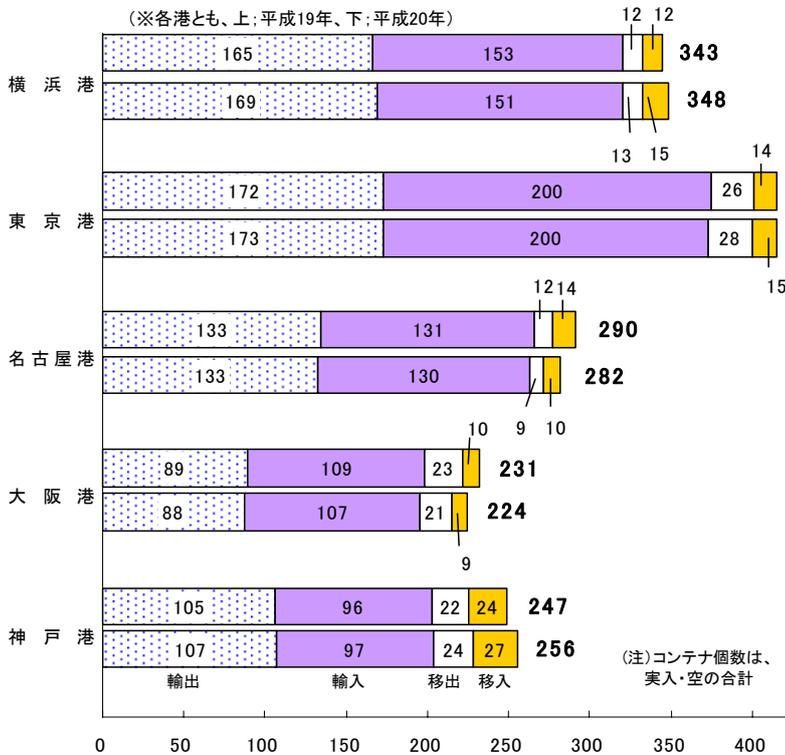
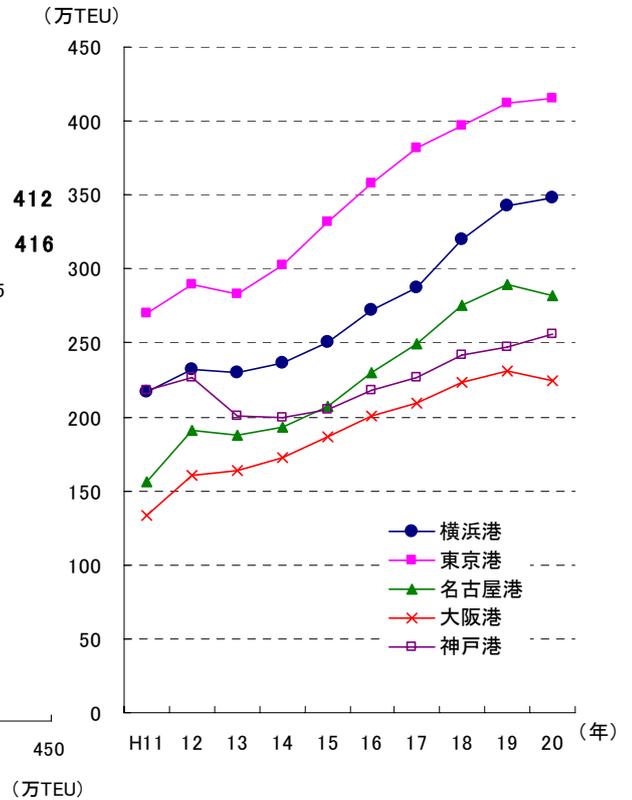


図17 主要港別コンテナ個数の推移



3 施設別取扱貨物量 【P28～30】

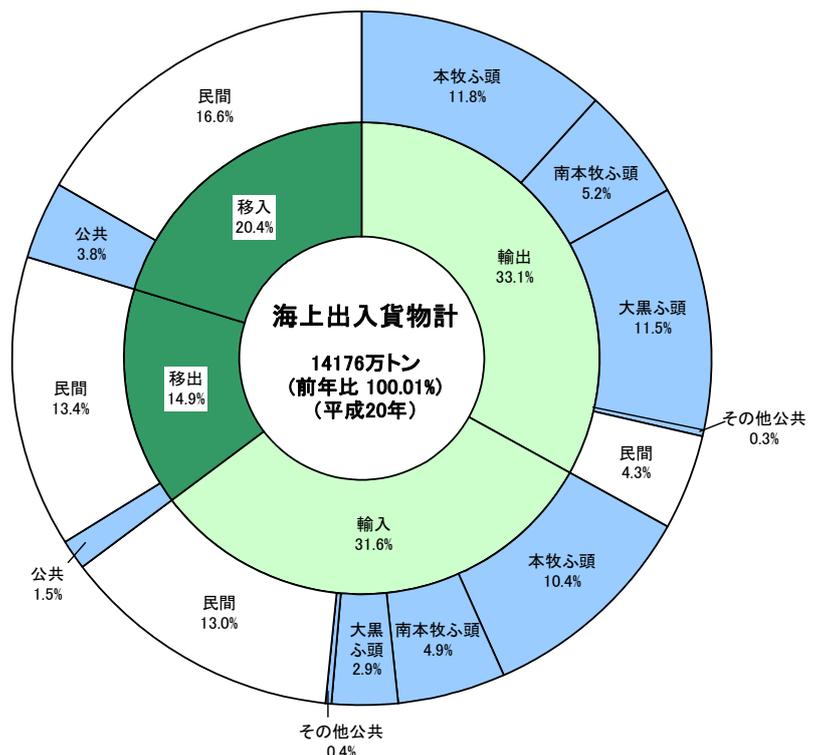
海上出入貨物量に占める公共施設（横浜埠頭公社を含む。以下同じ。）の取扱貨物量は、7461万トン（1.4%減、構成比52.6%）で、民間施設は6715万トン（1.6%増、構成比47.4%）となっています。

これを、外貿・内貿別に比較すると、外貿貨物の公共施設での取扱量は、6713万トン（構成比73.2%）で全体の7割強を占めています。

一方、内貿貨物の民間施設での取扱量は、4261万トン（構成比85.1%）で全体の9割弱を占めています。

また、外貿コンテナ貨物の公共施設での取扱量は5002万トンとなっており、外貿コンテナ貨物のほぼ100%が公共施設で取り扱われています。

図18 施設別取扱貨物



※公共（本牧、南本牧、大黒、その他）は、横浜港埠頭公社管理分を含む。